

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ **2025/06/20**

★SAH×大学生教育実習生に聞く「大学で求められる力」

前南は SAH の指定校になって、「非認知能力、非認知能力」と盛んに言われるようになったと思いますが、みんなの多くが目指す「大学生」ってどうなんだろう？高校に比べて、自由度が高く、自分で考え判断して行動する機会が多いイメージがありますが……。せっかくなので、教育実習生に話を聞いてみましょう。そこから「何か」を感じとってくださいね。

□まずは、「大学での学び」と「主体的に頑張っていること」をまとめてみました。 ※解答してくれた実習生のみ

実習生	大学の学部・学科	大学・ゼミで研究している 内容・卒論のテーマなど	大学に入って、一番主体的に頑張っていること
A先生	理学部化学科	ニッケルを使って還元し、触媒をつくる	教職の授業
B先生	人間開発学部 健康体育学科	バイオメカニクス	部活動
C先生	社会福祉学部	高校 福祉	子ども達への支援、かかわり
D先生	文学部国文学科	新古今和歌集の和歌の考察	アルバイト
E先生	理学部数学科	統計学をプログラミングを用いてデータの調査や予測を行っています。	大学生活で最も主体的に取り組んでいるのは、塾講師のアルバイトを通じて、生徒一人ひとりに合わせた指導方法を追求し、成績向上に貢献することです。 担当する生徒の理解度や性格はさまざまで、当初はマニュアル通りの教え方では十分な成果が出ませんでした。そこで私は、生徒ごとの課題を把握するために授業で生徒とコミュニケーションを取り生徒の現状を心身共に把握することや毎回の授業後に振り返りメモを作成し、指導内容や接し方を柔軟に変えるよう努めました。



Q 大学で「自分で判断し行動する」などの非認知能力が必要と感じた場面、壁にぶちあたった時や挫折した時どのよう
に乗り越えたか、大学で身についた非認知能力などを具体的に教えてください

□悩んでいることをすべて ノートに書き出し、なぜ悩んでいるのか、これからどうしたいか、どうしたらいいかを 整理し、行動に移すようにしている。(A先生)

□大学の履修は自分で判断して行動する能力が必要だと思いました。理由は自分がどのようなことを学びたいのか、将来どうなりたいかによって選ぶ授業が変わるので自分で判断することが必要だと感じたからです。(B先生)

□アルバイトと学業を両立させるためのスケジュール管理能力。思考を整理して、つまづいているポイントをまとめ、アプローチの方法を変えることによって壁を乗り越えてきた。(D先生)

① 長期的な計画・実行で自己管理能力が向上

大学生は時間割やどのような単位を取るか、また卒業までに何が必要かなど、全てを自分自身で計画します。その為、一年生の段階から自分の専攻する学部についてしっかりと調べて四年生までに何を取るか、そしてその単位がいつ取れるかなど先の先までを見越して計画します。

この話だけを聞くと「自分にできるか」や「心配」と思うかもしれませんが

困ったりした場合は大学の職員に聞いたり、同じ大学の同級生や先輩に聞いてみてください。自分で決めると言っても何から何まで自分の力だけでこなす必要は無いと思います。人間誰も1人で抱え込める人はいません。わからないことや困ったことはしっかりと質問や相談をして「頼る」という行動を身につけていけば、より良い大学生活が送れると思います。

② アルバイトでの粘り強さ・対応力の向上

大学の学外での非認知能力ではアルバイトでの粘り強さや対応力が挙げられると思います。大学生である一方で社会と触れ合う機会も多く存在すると思います。その中で一番皆さんにイメージしやすいものはアルバイトであると考えます。アルバイトであっても社会の一員としてしっかりと仕事をこなしていかなければなりません。例えば、私は塾講師としてアルバイトを行っていますが、子ども達に授業をする上で全ての子どもが思い通りに授業をさせてくれるとは限りません。急に分からなくなってしまう授業に躓いてしまう子どもや点数が伸び悩む子供など様々です。その中でどのように接していくかや何故そのようになってしまうのかなど子どもの外面だけでなく内面と向き合うことや子どもの声を聞くなど、現状に対して自分がどのような行動を取ることが的確か判断するなどの対応力や粘り強さが非認知能力として付いていきます。

しかし、私自身も初めてこのような場に会う時どうすれば良いかわからない事が多々ありました。そのような中で、やはり先ほどの自己管理能力でもあげたように困ったら人を頼ることが大切だと考えます。「自分だけではどうしようもないから人に頼る」それも立派な判断・行動だと思います。そこから学びを得ることで判断力や行動力の成長に繋がると感じます。(E先生)

□大学ではないですが、高校での部活動の経験がかなり大きかったです。

壁にぶつかった時、その辛い練習を乗り越えてきたことを思い出してやりき
れたことも多かったです。水球部での練習に耐え、チームメイトと協力して練習に取り組む中で、まず、あいさつや大切である人間関係や礼儀、人情など人間関係において大事なことを教わりました。(C先生)

【編集後記】実習生の話を読むと、大学生は自由度が高い分、より「自分で考え判断し動く」ことが大事であり、自分を知り自分をコントロール(自己管理)することを意識していることがわかりますね。今からできることは“意識”してやってみよう。

